第51期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修報告書

広島市立大学 国際学部3年 横山琉夏

2024年11月

México Mágico

11月もあっという間に終わり、12月の頭にこのレポートを書いているのですが、気温が 私の知っている 12月ではないため 12月に入ったという実感がまだ湧いていません。朝晩 は少し冷え込みますが、日中は 20度を超えているので、まだ薄手の長袖で過ごすことがで きています。

死者の日(Día de muertos)

11月1日、2日はメキシコ最大の祝祭と呼ばれ、ユネスコ無形文化遺産にも指定されて

いる「死者の日」。ディズニー映画「リメンバー・ミー」の題材とされていたり、日本の番組でも特集されていたりするため、日本人の方にもよく知られているイベントかと思います。

そんな死者の日が近づいてくると、街のいたるところでオフレンダと呼ばれる祭壇や死者を導く役割があると言われているマリーゴールド、死者の日のシンボルであるカラベラ・カトリーナなどをよく目にします。



UNAM に飾られていたオフレンダ →

死者の日当日になると、メキシコの各地でパレードや祝祭が行われます。私は、死者の日に特に盛り上がるとして有名な都市の1つ、そしてディズニー映画「リメンバー・ミー」の舞台ともいわれているハニツィオ島に行ってきました。ハニツィオ島はミチョアカン州のパツクアロ湖の中にある小さな島です。ここには先住民が多く住んでおり、伝統文化や古くからの暮らしが色濃く残っています。

ハニツィオ島まではボートに乗って行ったのですが、船着場まであと 20m というところでエンジンが故障してしまうプチハプニングが起きました。私は少し焦ってしまったのですが、メキシコ人の方たちはSOSと笑いながら叫んでいたり、ライフジャケット着て泳ぐ?と冗談を言って笑わせていたり、とみんなでハプニングを楽しんでいました。ほかのボートに引っ張ってもらい、無事島に着いた時には拍手喝采で、まるでお祭りのようでした。このようなハプニングさえ、誰一人文句を言うことなく、みんなで楽しんでしまうところもメキシコの良さだなと思いました。

死者の日どこに行こうと SNS で探していた際の決定打となったハニツィオ島のお墓は、マリーゴールドがたくさんお供えされていて、お墓とは思えない、とても明るい雰囲気でした。ほかの方のお墓に観光に行くというのは不思議な感覚でしたが、日本のお盆の落ち着いた厳かな雰囲気とは違い、明るくて温かいメキシコ独自の文化に触れることができ、とても良い思い出になりました。





← カトリーナメイクをしてもらいました!!

秋祭り

11 月中旬の3連休、広島県人会会長の平田ビクトルさんにお声がけいただき、日墨協会主催のイベント「秋祭り」に参加してきました。秋祭りでは、各県の県人会の方たちがそれぞれの県のご当地グルメや雑貨を販売していたり、日本から来たアイドルやメキシコ在住の日本人による日本舞踊のパフォーマンスが行われたりしています。

私は、広島県人会のブースでお好み焼きづくりを手伝わせていただきました。私は生まれも育ちも広島ですが、家族以外のためにお好み焼きを作るのは初めてだったので、最初は少し不安でした。しかし、広島県人会の日系メキシコ人の方々は毎年秋祭りでお好み焼きを作っているためとても慣れており、手際よく教えてくださったので、私も楽しくお好み焼きを作ることができました。



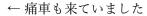
秋祭りに参加して感じたことは、日本の文化に興味を持ってい

たり、広島について知っていたりするメキシコ人の方が、私が思っているよりも多くいるということです。お好み焼きについて聞かれた際、「広島で有名な食べ物です。」というと、「広島ってどこ?」と言われることよりも「広島知ってるよ!」と言われることの方が多く、とても嬉しかったです。また、日本から来た琴の演奏者の方が、日本のアニメやジブリの曲を演奏されていたのですが、メキシコ人の方たちは大盛り上がりで、当たり前のように日本語で歌っている方もたくさんいて、日本文化がとても愛されているということを

体感することができました。



長野県人会のおやき →





おわりに

11 月は、新たなメキシコ文化に触れ、日本文化がどれだけ知られているのかも体感するというとても充実した1ヶ月でした。もうすぐ行われる otoño2 のテストが終われば、1か月の冬休みに入ります。冬休みは、旅行に行く予定や、クリスマスや年末年始とイベントが多くあるので、様々な場所に出向き、新たなメキシコ文化にたくさん出会いたいです。



11月の México Mágico

メキシコで卵を買う際、1度開けて中を見た方がいいと言われている理由が分かりました(笑)